

高等教育活性化シリーズ 198 (通算 512 回)

2011 年 12 月 13 日 (火)

“大学院”改革なくして大学改革なし——

大学院学位プログラムの再構築と展開

高等教育活性化シリーズ 199 (通算 513 回)

2011 年 12 月 16 日 (金)

自律的学修の実現ノウハウ——

PBL教育の最新動向—評価と深化シナリオ

“大学院”改革なくして大学改革なし——

大学院学位プログラムの再構築と展開

～修士と博士課程の分離と接続／博士論文研究基礎力審査とは～

～高度職業型／教養専門型／大学教員養成型／高度研究型～

- ※ 制度改正と実態の乖離・跛行／第2次振興要綱のスキーム／修士と博士の分離・接続と要件
- ※ 古き良き・厳しき時代の修士・博士の学位のハードル／日本の修士、米国の博士の候補者試験
- ※ グローバル世界と私／日本社会の成功と弱点／知の鎖国を拓く／教育の社会的責任／何が出来るか
- ※ グローバル人材と大学・大学院教育／大学院部会での議論／人材と大学・大学院／私立大学院の進路

● 講師陣 ●

荻上 紘一 氏 / (独) 大学評価・学位授与機構 特任教授
中教審大学分科会大学院部会専門委員

藤田 幸男 氏 / 早稲田大学名誉教授 (学) 追手門学院常任監事

黒川 清 氏 / 政策研究大学院大学 アカデミックフェロー 元日本学会会議会長

勝 悦子 氏 / 明治大学 副学長 政治経済学部 教授
中教審大学分科会委員大学院部会臨時委員

2011 年 12 月 13 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

自律的学修の実現ノウハウ——

PBL教育の最新動向—評価と深化シナリオ

～問題解決型・プロジェクト型／授業設計・シラバスと展開／アウトカム評価～

- ※ [基調報告] 慶応 SFC 創設時の理念／20 余年の展開過程での変遷／アクティブラーニング実績
- ※ キャリア実践・コーオペ教育／PBL 科目の洗練と拡大／スタッフ育成／学生・教員からの評価
- ※ 4 タイプの PBL 授業／目標と成果／教員向けマニュアル／能動学修を促すシラバス／評価策

● 講師陣 ●

井下 理 氏 / 慶應義塾大学 総合政策学部 教授

中川 正明 氏 / 京都産業大学 理事、キャリア教育研究開発センター運営委員
進路センターディレクター

鶴岡 信治 氏 / 三重大学 大学院地域イノベーション学研究所
工学部電気電子工学科情報処理研究室 教授

2011 年 12 月 16 日 (金) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 198 大学院学位プログラムの再構築と展開
 2011年12月13日(火) 10:00~16:40

会場 : 剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町)
 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

日時 : 高等教育活性化シリーズ 199 PBL教育の最新動向ー評価と深化シナリオ
 2011年12月16日(金) 10:30~16:50

会場 : 日本教育会館 会議室(東京・神保町)
 千代田区一ツ橋2-6-2 03-3230-2833
 (東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1番出口より徒歩3分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>)

| 参加費 | ご一名 (資料代を含む) | メディア参加 (資料及び音声CD送付) |
|--|-------------------|--------------------------------|
| 高等教育活性化シリーズ198 大学院学位プログラムの再構築と展開 | 42,000円 (消費税込) | 43,000円(送料、消費税込) |
| 高等教育活性化シリーズ199 PBL教育の最新動向ー評価と深化シナリオ | 41,000円 (消費税込) | 30,000円(送料、消費税込) ※2講師分のみの配布 |

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。
 受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替:00110-8-81660
 口座名 (株)地域科学研究会
 (ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2011年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 198 大学院学位プログラムの再構築と展開
 当日参加 メディア参加
- 高等教育活性化シリーズ 199 PBL教育の最新動向ー評価と深化シナリオ
 当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

| 参加者氏名 | 所属部課役職名 | メールアドレス |
|-------|---------|---------|
| | | |
| | | |
| | | |

〈通信欄〉支払方法(□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類(□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

| 時間 | 講義項目 |
|---------------------|---|
| 10:00) 11:50 | <p><input type="checkbox"/> 明日の大学院教育の論点整理と今後の進路 ～第二次大学院振興要綱を踏まえつつ／独断と偏見の解説～ 大学評価・学位授与機構 荻上 紘一</p> <p>1. 大学院実質化なくして高等教育の明日なし 2. 制度改正と実態の乖離・跛行 (1) 大学院重点化～もたらしたもの (2) 課程制～その実質化は (3) 修士・博士・専門職の学位の実力は (4) 私立大学大学院の空洞化 (5) ポスドク～社会・産業界の院卒者への処遇 3. 大学院の明日を拓く (1) 出口の明確化～高度職業人、教養専門人、大学教員、高度研究者 (2) 修士学位プログラムとその修了要件 (3) 一貫制博士学位プログラムとその修了要件 (4) 修士と博士の接続とそのハードル～博士論文研究基礎力審査とは (質疑応答)</p> |
| 12:00) 12:30 | <p><input type="checkbox"/> 古き良き時代の大学院教育 ～修士・博士候補者試験のハードル～ 早稲田大学 藤田 幸男</p> <p>私は1957年から62年まで早稲田大学の大学院で教育を受けましたが、 新制の7期生で試運転の時代でした。 1964年から68年まで、イリノイ大学の大学院で、古い制度の最後の時代でしたが、 本物の大学院教育を受けました。 共通していたのは、修士・博士の候補者試験のハードルでした。 (質疑応答)</p> |
| 13:30) 15:00 | <p><input type="checkbox"/> 大学院教育の新パラダイム ～21世紀の“知”への挑戦～ 政策研究大学院大学 黒川 清</p> <p>1. グローバル世界の動き (1) 不確実の時代; Age of Uncertainty (2) 人材 vs 人財 (3) Talent Mobility —私のはなし— 2. 高等教育の変遷 (1) 時代の背景 (2) わが国の変化 (3) 科学技術基本計画と国立大学の法人化 (4) なぜ「大学のランキング」? (5) なぜ、英米の大学が「魅力的」なのか 3. 日本社会の成功と弱点 (1) この60年、そしてこの20年 (2) 日本の常識と非常識 (3) 「内向きな日本の若者」は本当か? 4. 「知の鎖国、日本」 Cartels of the Mind; Japan's Intellectual Close Shops (1) 大学の大相撲化 (2) 休学のすすめ (3) 「優れた教育」とは? (4) 「知識社会」とはなにか? それは本当か? 5. 何が出来るか? (1) グローバル時代へ、教育者の社会的責任 (2) 基本的な考え方—「外」を体験、世界の日本を感じ取る、英語教育、教えることから学ぶ 6. 新しい動き (1) Open Education (2) Teach for America (質疑応答)</p> |
| 15:10) 16:40 | <p><input type="checkbox"/> グローバル時代の大学院教育のあり方 明治大学 勝 悦子</p> <p>1. グローバル人材育成と大学教育 (1) グローバル人材の定義 (2) グローバル人材への企業のニーズ (3) 大学教育と産学連携 2. 国際化時代の大学院教育のあり方 (1) 大学院部会での議論の方向性 (2) リーディング大学院、EU、中国での取り組み (3) 産業界との連携のあり方 3. 国立大学と私立大学 (1) 私立大学における大学院教育 (2) 企業のニーズと大学院教育 (3) 私立大学における大学院教育はどうあるべきか (質疑応答)</p> |

| 時間 | 講義項目 |
|---------------------|--|
| 10:30 ～ 12:00 | <p>□ [基調報告] 問題解決・プロジェクト型教育のコンセプトと展開 ～SFC20年余のアクティブラーニングの実績を踏まえて～ 慶應義塾大学 井下 理</p> <p>1. 慶應 SFC 創設時の理念～学習者主体の問題発見・解決型教育 (1) 教育から学習支援へ (2) 教育者主体から学習者主体へ</p> <p>2. 展開過程での変遷 (1) 評価の風から内発的コミュニケーションへ (2) 体験型学習・実践系科目の拡大の多様化 (3) グループワーク型学習の展開</p> <p>3. アクティブ・ラーニング実践の課題 (1) 専門領域性後退の弊害 (2) 喧騒か定着化かの分岐点 (3) 「未来からの留学生」か「未来への留学生」か 〈質疑応答〉</p> |
| 13:00 ～ 14:50 | <p>□ [京都産業大学] 実践的PBL型キャリア教育プログラムの推進と成果 ～産学官連携による推進方策/PBL型科目の洗練と拡大～ 京都産業大学 中川 正明</p> <p>1. 学生のキャリアマインドと実践型キャリア教育の必要性 (1) 就職環境の変化と学生の仕事観 (2) 就職難時代にキャリア教育に求められるもの (3) インターンシップからコーオプ教育への展開</p> <p>2. 課題解決型(PBL)授業の導入と実際 (1) PBL実践の基本構造 (2) PBL育成プログラム構築 (3) スタッフの育成と組織 (4) 学内浸透化</p> <p>3. PBL・コーオプ教育の学生/教員に対する効果と今後 (1) PBL実践で学生の学ぶ姿勢はどう変わったか (2) PBL教育の学生からの評価 (3) これからの展開と課題 〈質疑応答〉</p> |
| 15:00 ～ 16:50 | <p>□ [三重大学] 多様なPBL授業の拡大方法と具体的な実施例 ～教員向けマニュアルの作成/産学連携の実践型授業設計とシラバス～ 三重大学 鶴岡 信治</p> <p>1. 三重大学のPBL教育の位置づけと教育目標との関連 (1) なぜ三重大学でPBL教育が普及したのか？ (2) 三重大学の教育目標 (3) 全学生向け必修科目「4つの力・スタートアップセミナー」 (4) eラーニングシステム(ムードル)との連携</p> <p>2. なぜ2種類のPBLマニュアルを作成したのか？ (1) 医学部から全学展開する場合の問題点の解決方法 (2) 事例シナリオを用いたPBL授業の実践(1冊目) (3) PBL授業を普及させる方法 (4) 多様なPBL授業の類型化(4つのPBL授業タイプ)(2冊目)</p> <p>3. 学生の能動的な学習を生み出すPBL事例(授業設計と評価) (1) 問題提示型PBL授業 (2) 問題自己設定型PBL授業 (3) プロジェクト型PBL授業 (4) 実地体験型PBL授業 (5) 地域イノベーションにつながるPBL授業(大学院教育との連携) 〈質疑応答〉</p> |